

6月定例会開会、当初予算案を議論！

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

第27号

2015年6月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■介護予防の現場視察

連続17回目の本会議質問 医療・介護政策を提起、県政推進

福岡県議会の6月定例会が6月17日、開会しました。会期は7月14日まで。小川洋知事から議会に対し、過去最大となる総額1兆7770億円の2015年度一般会計当初予算案などが提案され、本会議や常任委員会、予算特別委員会

議論していきます。私は1期目からの通算で連続17回目となる本会議質問（一般質問）で登壇、医療・介護政策の重要性などを提起し、県政推進を図ります。

当初予算案の柱は▽景気の回復と魅力ある雇用の場の創出▽出会い、結婚、子育て、就職・仕事の支援▽女性や高齢者の活躍の応援▽たくましいグローバルな人材の育成▽安心して生活できる共助社会の実現▽安全・安心、災害に強い県づくり――。私が1期目から議会で提案し

てきた政策も盛り込まれています。共働きで子育てをしている立場から、子育て支援の充実や教育環境の整備を求めてきましたが、今回の予算案では子どもの放課後の居場所づくりを含めた子育て支援策で前進がみられます。地域医療・介護体制の充実も図られ、私の提案で実現した宅老所支援費も継続。中小企業や農林水産業の振興、地域防災力の強化なども引き続き重要課題として位置づけられています。

一方、県政課題は多岐にわたっており、当初予算案では対応できていない課題があることも確かです。

例えば、高齢社会に対応した健康づくり・介護予防体制の構築は自治会活動を後押しすることが極めて重要ですが、さらなる政策展開が必要といえます。子どもの学力向上を図るうえでも現状では十分とはいえません。こうした様々な課題を解決していくためにも県議としてしっかりと提案をしていきます。

県議会のHPでは本会議を中継しています。また、私の本会議質問も含め過去の動画を見ることができ、ご参照いただくと幸いです。



古賀団地区の成人学級で講師を務めさせていただきました＝2015年6月2日

▼福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



裏面に つづきます

田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき で 検索

- ブログ(政治活動日記)
- 公式ホームページ
- facebook
- Twitter

- <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- アカウント→ @tanabe_kazuki

子育て支援 — 放課後の居場所づくりの政策強化

感染症医療、ラグビーW杯の機運醸成も

知事から議案に提案された2015年度の当初予算案には、県民生活に直結する政策が多く盛り込まれました。私や所属会派からこれまでに県議会の議論の中で提案し、実現されているものも多々あります。

子育て支援に関しては、私から県行政に対し、これまでも地元・古賀市の保護者の方々のご意見を伝えてきました。予算案では、放課後児童クラブ（学童保育）とアンビシヤス広場（国制度の放課後子ども教室）の連携に取り組む市町村に対しての助成制度（県内6カ所まで試行、事業費150万円上限）が実現。子どもたちの「放課後の居場所づくり」の効果的な推進につなげていくため、運営や指導などのスタッフに対し、制限なく有償を可能とする仕組みとしていきます。あわせて従来からのアンビシヤス広場の運

営についても同様に有償を可能とし、制度の運用を変更しました。

グローバル化が進む中、感染症医療の充実も極めて重要な県政課題です。当初予算案を受け、古賀市にエボラ出血熱などの1類感染症を県内で唯一受け入れられる国立病院機構・福岡東医療センター（第1種感染症指定医療機関）が立地していることを念頭に、医療機関に対する運営費などの補助金支給を確認。さらに私から県を含む関係機関が連携した訓練の確実な実施を求めています。

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップで、試合会場のひとつにレベルファイブスタジアム（福岡市）が決まりました。これを受け、予算案には大会の開催に伴う分担金（総額1億円）の3分の1が盛り込まれました。私は会場誘致を知事に提起してきた経緯もあり、5月のアジア選手権の日韓戦が同会場で開催された際に観客数が収容可能人数の5分の1だったことを指摘し、4年後の本番に向けてラグビーファンのさらなる裾野拡大に向けた取り組みの推進を強く求めました。

また、私が昨年12月定例会で会派を代表して、深夜・早朝に受付対応ができていない「性暴力被害者支援センター・ふくおか」について24時間相談体制を整備するよう改善を求めましたが、これを実現するための予算も盛り込まれました。

このほかにも様々な政策が提案されています。あらゆる機会を通じ、お伝えしていきます。

農林水産委員会に所属が決定

私は2期目の前半、農林水産委員会に所属。地元・古賀市も

農業が重要な産業のひとつであり、1期目から強く希望していました。生産者の皆さんの収益性の高い農業経営に向けた支援を進めるとともに、私たち一人一人が「農と食」の重要性への理解をさらに深め、この国の「根っこ」である1次産業の持続的発展を図らなければなりません。

6月9日、実質的に最初の委員会が開催され、昨年12月に制定した県農林水産業・農山漁村振興条例に基づいた施策の方向性などの説明を受けました。質疑では県行政に対し、「人口減少社会で地方の再生を考えるうえで、1次産業振興の重要性と戦略性の構築」「生産県であり消費県である福岡の特性を生かしていくこと」「現場の生産者の意見を確実にくみ取っていくこと」などの意見が出されました。引き続きしっかりと取り組んでまいります。

私は2期目の前半、農林水産委員会に所属。地元・古賀市も

田辺かずき事務所からのおしらせ

【対話集会を開催】

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があってこそ。市内各地の公民館で対話集会を継続的に開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただきます。事務所（092-692-8510）まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書（1～2カ月に1回のペースで発行）で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所（092-692-8510）までご連絡ください。



古賀市内の各駅で県政報告を配布＝6月8日、ししふ駅

◇舞の里1区のヘルスステーションを視察



健康づくりと介護予防を推進するため、舞の里1区のヘルスステーションの取り組みを視察。古賀市は自治会単位でのヘルスステーションの運営を広げるための事業を進めており、花鶴丘3丁目区や舞の里1区で先行して実施されています。

5月26日、舞の里1区集会所には多くの地域住民の皆さんが参加されていました。運営には、地域住民の皆さんだけでなく、予防健診課をはじめとする市行政の方々、福岡女学院看護大学の学生さんやボランティアの健康づくり推進員さん、食進会の方が連携。特定健診の受診向上に向けたきっかけづくり、人と人がつながる地域の輪づくり、そして、地域包括ケアシステムの具体的な展開に向けた大きな可能性を実感できました。

私も現場で骨密度や体組成、血圧を測定。いずれも30歳代として標準との結果を得られ、ホッとしました。こうした先進事例を福岡県内の各地に広げていくことも県議の重要な仕事だと思っています。この日の現場で学んだことをしっかりと生かしていきます。

なお、健康寿命延伸に関連しては、福岡県における介護費削減の試算が私の一般質問（今年2月）によって明らかとなっています。試算によると、健康寿命を長くすることで福岡県の介護費用が10年間で814億円削減（1年当たり約81億円）でき、これは県の2012年度の介護給付費約3300億円の約2・5%に当たります。

<田辺かずき プロフィール>

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会、議会運営委員会
全国青年都道府県議会議員の会（福岡県世話人）
民主党青年委員会副委員長
民主党福岡県第4総支部幹事長
- 【家族】 会社員の妻、8歳の長男、4歳の長女

